

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.870
2020.3.22

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	

予算委員会 (市民生活委員会関連)

あらゆるハラスメントを 職場からなくすために



害の実態を知ることが大切だ」として、市が実施する研修のなかで、被害者の声を反映するような施策が計画されているかを質しました。市は「現在は方策がないが、そういった声を拾えるような手段を今後考えていく」と答弁しました。

コミセン体育館にエアコン設置を

また、南浦和コミュニティセンターの体育館に空調設備がなく、スポットクーラーで対応している問題も取り上げました。市は「エアコン設置は大規模修繕の中でおこなうが、南浦和コミュニティセンターは修繕の計画が現在のところない」と答弁。金子市議は、スポーツ活動にとりくむ市民の健康と安全のためにも、大規模修繕とは切り離してエアコン設置を早期に実施すべきだと求めました。

その他、金子市議はプラスチックごみの削減を進めるためのとりくみとして、かつて旧岩槻市でおこなわれ、現在も川口市や東京23区内で実施されている資源物のコンテナ回収について検討すべきだ質しました。市は、検討していない理由として、路上回収が4割を占めているため困難が多いと答弁しました。

3月3日、予算委員会で金子あきよ市議が市民生活委員会関連の質問に立ちました。金子市議は、ジェンダー平等の実現に向けて、職場からあらゆるハラスメントをなくすための市のとりくみについて質しました。

市は、①市民、市内事業者に対する情報提供(男女共同参画センター)②企業向けのセクハラ、マタハラ、パワハラ防止研修、「働きやすい職場環境を目指して」という研修、育児・家事・介護等、時間に制約のある多様な人材を生かせる職場づくりについての研修を実施(人権政策男女共同参画課)③働く人の支援講座の実施、「働く人の支援ガイド」の発行による啓発(男女共同参画まちづくりプラン)、などと回答。

さらに金子市議は、「深刻化している就活セクハラなどの当事者の声に耳を傾けて、被

新型コロナウイルス 検査体制の拡充求める



3月5日、予算委員会でとばめぐみ市議が保健福祉委員会関連の質問を行い、新型コロナウイルスに関する市の対応を質しました。

とば市議が「市の検査件数があまりにも少ない。市内の検査・治療・入院の体制はどうなっているのか」と質したところ、市は「適応対象となる医療機関は4カ所で、1日の検査能力は20検体。受入れ可能な第2種感染症指定医療機関は市立病院の10床のみで、不足したら県内10数カ所の医療機関を利用する」と答弁しました。

厚生労働省は「3月6日から公的保険適用・新型コロナ検査自己負担なし・保険適用後は医師の判断で検査できる」と発表しました。とば市議は「厚労省の発表によってなにが変わるのか。検査がスムーズにおこなわれるのか」と問いましたが、市は「なににも変わりません」と答弁。とば市議は「検査能力を最大限活用して、積極的に検査をおこなうことが

必要な対策につながり、感染予防にもなる」と主張し、あわせて、市内に1カ所しかない保健所の機能拡大を求めました。

また全国一斉休校によって、あらためて認可保育所や放課後児童クラブ・学童保育が日本社会を支える重要な施設であることがはっきりしました。とば市議は「新型コロナウイルス対策が叫ばれるなか、学童の支援員も感染リスクを負って開所している。さまざまな負担を負わせておきながらふさわしい支援をおこなわないのは問題だ」として、委託費と処遇改善費を抜本的に増やすよう求めました。

予算委員会 (文教委員会関連)

新型コロナウイルスの影響で 国際芸術祭が延期



てもらわなければならない。

久保市議は、2017年の文化芸術予算が政令市のなかでさいたま市が最下位であることにふれ、「市内で活動している芸術団体や個人をもっと応援していただきたい。活動支援金である文化芸術創造補助金を増額すべき」と求めました。

変形労働制導入の条件はない

国が給特法の改正にともなって、来年度中に変形労働制に関わる条例制定のスケジュールを示していることを受けて、久保市議は「変形労働制導入のためには、教職員の残業時間を原則として1カ月45時間以内・1年間で360時間以内と規定する予定とのことだが、現状はどうか」と問い、市教育委員会は「年間残業時間が小学校で536時間、中学校が664時間、全校種で574時間」と答弁しました。このことにより、本市では変形労働制をスタートする条件がないことを明らかにしました。また「さいたま市教職員組合の『教職員緊急アンケート』(昨年11月)でも、9割が変形労働制の導入では長時間労働は解消しないと答えている」として、現場の声を尊重するよう強く求めました。

3月4日、予算委員会で久保みき市議が文教委員会関連の質問に立ちました。

3月14日に国際芸術祭が開幕予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期され、今後の見通しも不明です。約5億8000万円の予算でおこなわれるビッグイベントですが、党市議団としては「国際」の名を冠したイベントの芸術祭から、市民芸術家が主役の芸術祭に舵切りをするよう以前から求めて来ました。

久保 国際芸術祭の市民公募には何組応募があつて、何組採用されたか。

市 14組の応募で、5組が採用。

久保 14組全員に参加してもらわなければならない。市民の税金でおこなう芸術祭なのだから、参加希望の市内芸術家には全員参加し

予算委員会 (まちづくり委員会関連)



公園遊具の安全点検と 新設を急いで

新設で9800万円。撤去は来年度中にすべておこない、新設基数は106基。

とりうみ 撤去し、新設しなければならないのは今後の5年間で106基もあるのに2020年度の新設がたった2基なのはなぜか。

市 撤去しなければ新設できないため。

とりうみ 撤去されたところから随時設置すべきだ。前倒しは可能ではないか。

市 少しでも前倒しできるよう、検討する。

とりうみ市議は「2024年までかかるというのは長すぎる。子どもたちは早く遊具が使えるようになるのを待っている。前倒しで急ぐべき」と改めて要望しました。

ほかに、コミュニティバス、浦和駅西口南高砂地区再開発、既存建物耐震補強助成事業などについて取り上げ、市の姿勢を質しました。

3月6日、予算委員会で、とりうみ敏行市議がまちづくり委員会関連の質問に立ちました。

市内には、放置すれば死亡事故や重大な障害事故につながるとされているハザードレベル3の公園遊具が766基(全遊具の20%)あり、安全点検および修繕・新設作業がおこなわれています。しかし、これらの作業の完了が、2024年度までかかることから、「早く遊具が使えるようにしてほしい」といった声が党市議団に届けられています。

とりうみ 2020年度中に修繕と撤去がすべて終わるとのことだが、新設される基数と国庫補助はいくらか。

市 国庫補助は来年度から導入予定で、撤去・

あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保 みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連